

平成 22 年度市政アンケート調査 報告書

(テーマ：「地域の活動やまちづくり」について)

- 実施時期：平成 22 年 11 月 29 日～12 月 13 日
- 対 象：福岡市市政アンケート調査協力員* 約 600 人
 - * 福岡市内に住む 20 歳以上の男女から無作為抽出し、年間を通したアンケート調査への協力をお願いし、承諾した者
- 実施方法：郵送により配布・回収
- 回 収 率：89.9%(回収数 554/調査数 616)
- 調査テーマ担当課：市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課
TEL:092-711-4286 FAX:092-733-5595
E-Mail:community.CAB@city.fukuoka.lg.jp

※ 結果の数値は構成比(%)。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合もある。

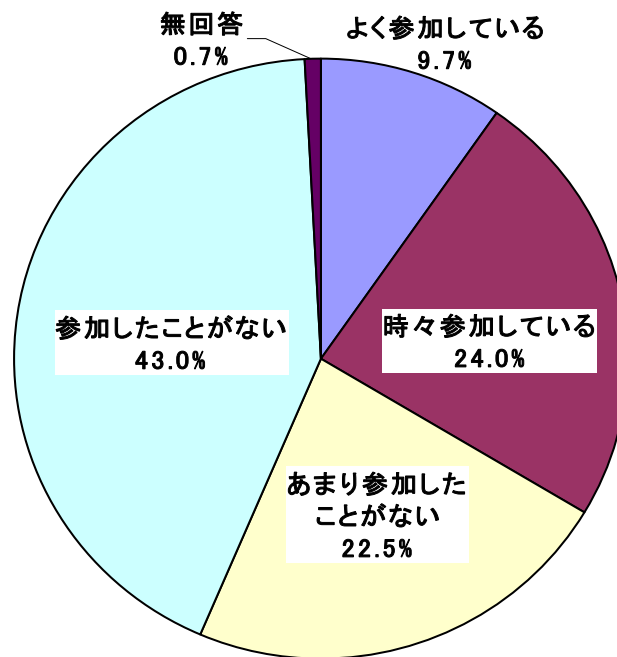
(1) 過去2年間における地域活動への参加状況

問1 あなたは過去2年間において、お住まいの地域で、住民が主体となっていて行っている活動（地域活動）に参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

住んでいる地域で住民が主体となっていて行っている活動（地域活動）に参加したことがあるかをきいたところ、「よく参加している」が9.7%、「時々参加している」が24.0%となっており、両者を合わせると33.7%となっている。

また、「参加したことがない」(43.0%)、「あまり参加したことがない」(22.6%)を合わせると、65.6%となっている。

過去2年間における地域活動への参加状況



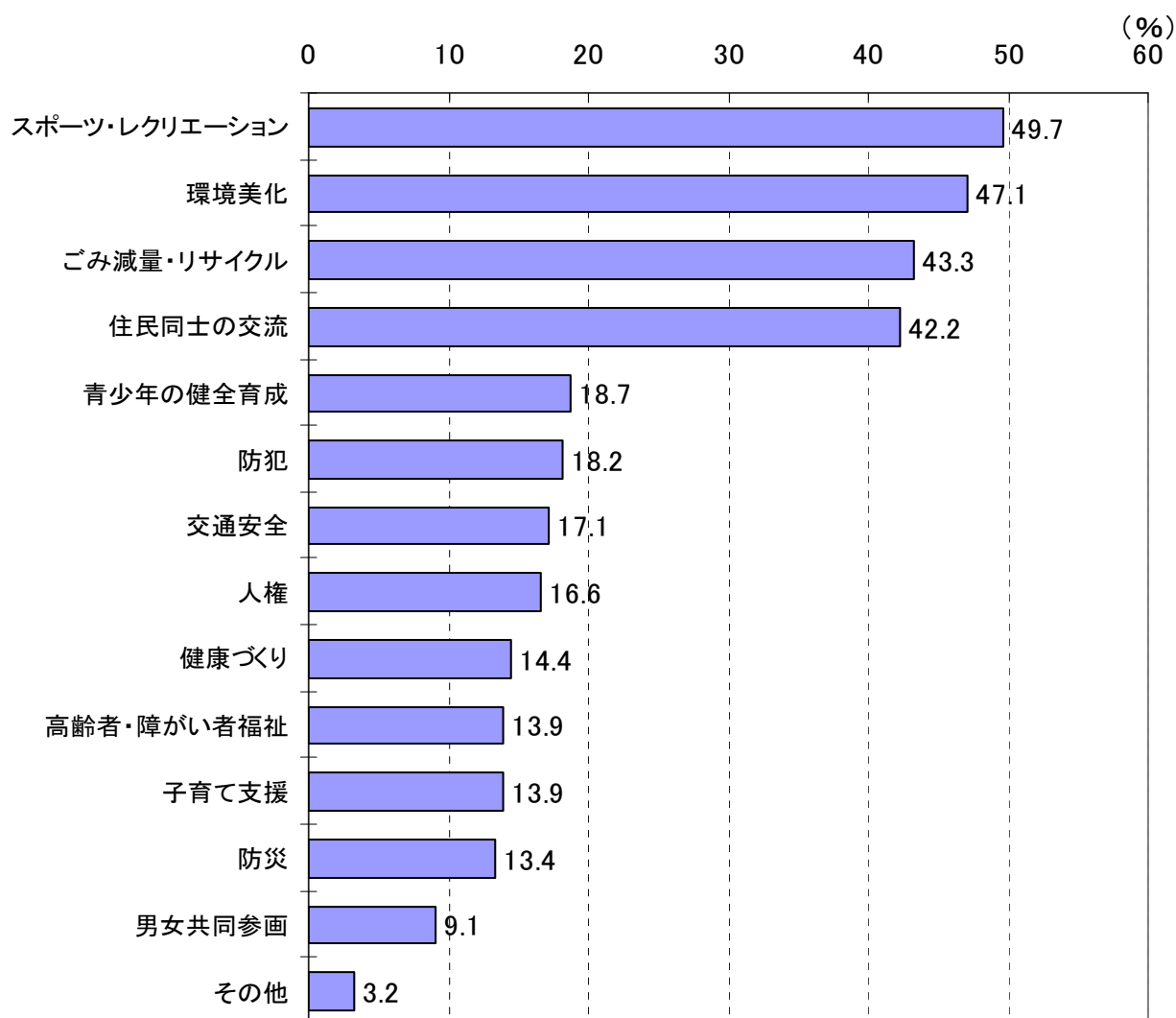
全体(N=554)

(1)－1 参加した活動内容

問1－1 【問1で「1 よく参加している」「2 時々参加している」と回答した方におたずねします。】
どのような分野の活動に参加しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

住民が主体となっていて行っている活動（地域活動）に『参加している』人に、その活動内容についてきいたところ、「スポーツ・レクリエーション」(49.7%)、「環境美化」(47.1%)、「ごみ減量・リサイクル」(43.3%)、「住民同士の交流」(42.2%)が4割を超えている。

参加した活動内容

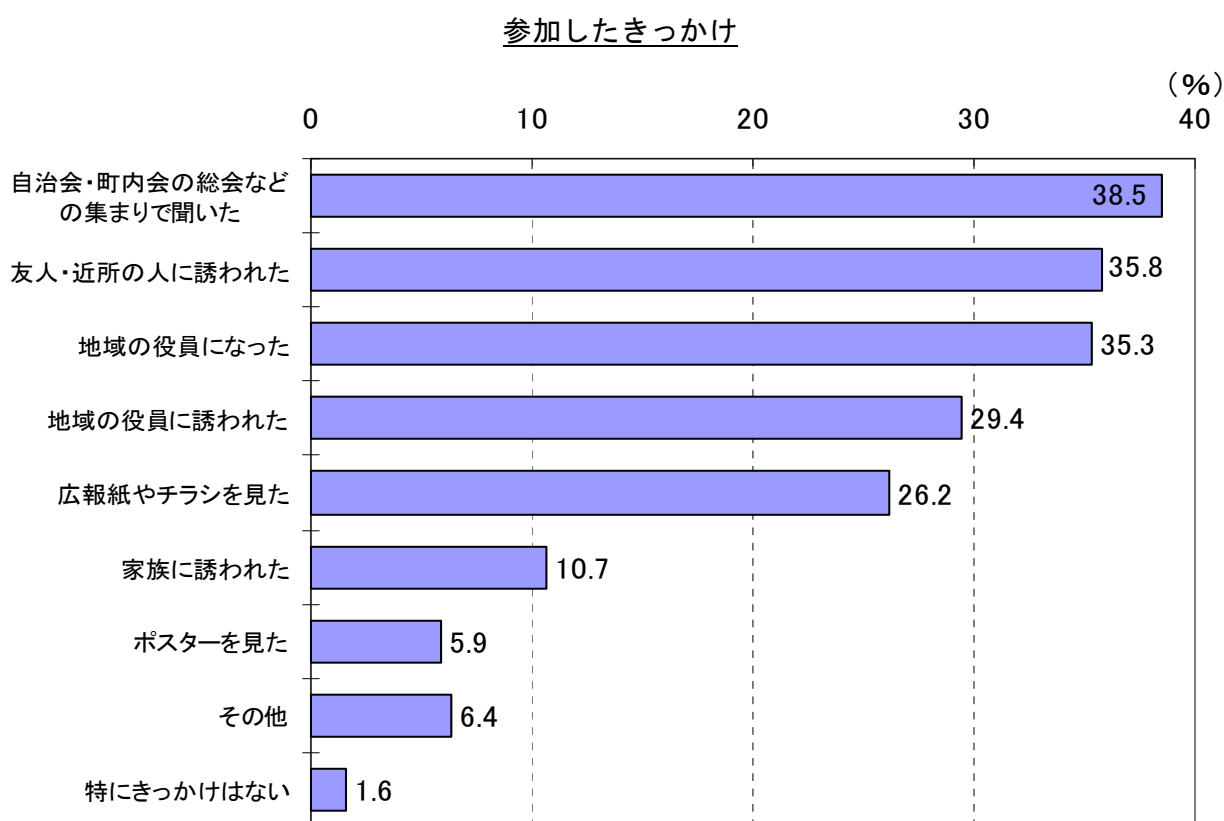


全体(n=187)

(1)－2 参加したきっかけ

問1－2 【問1で「1 よく参加している」「2 時々参加している」と回答した方におたずねします。】
参加したきっかけは何でしたか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

住民が主体となって行っている活動（地域活動）に『参加している』人に、参加したきっかけをきいたところ、「自治会・町内会の総会などの集まりで聞いた」（38.5%）、「友人・近所の人に誘われた」（35.8%）、「地域の役員になった」（35.3%）、「地域の役員に誘われた」（29.4%）の順となっている。



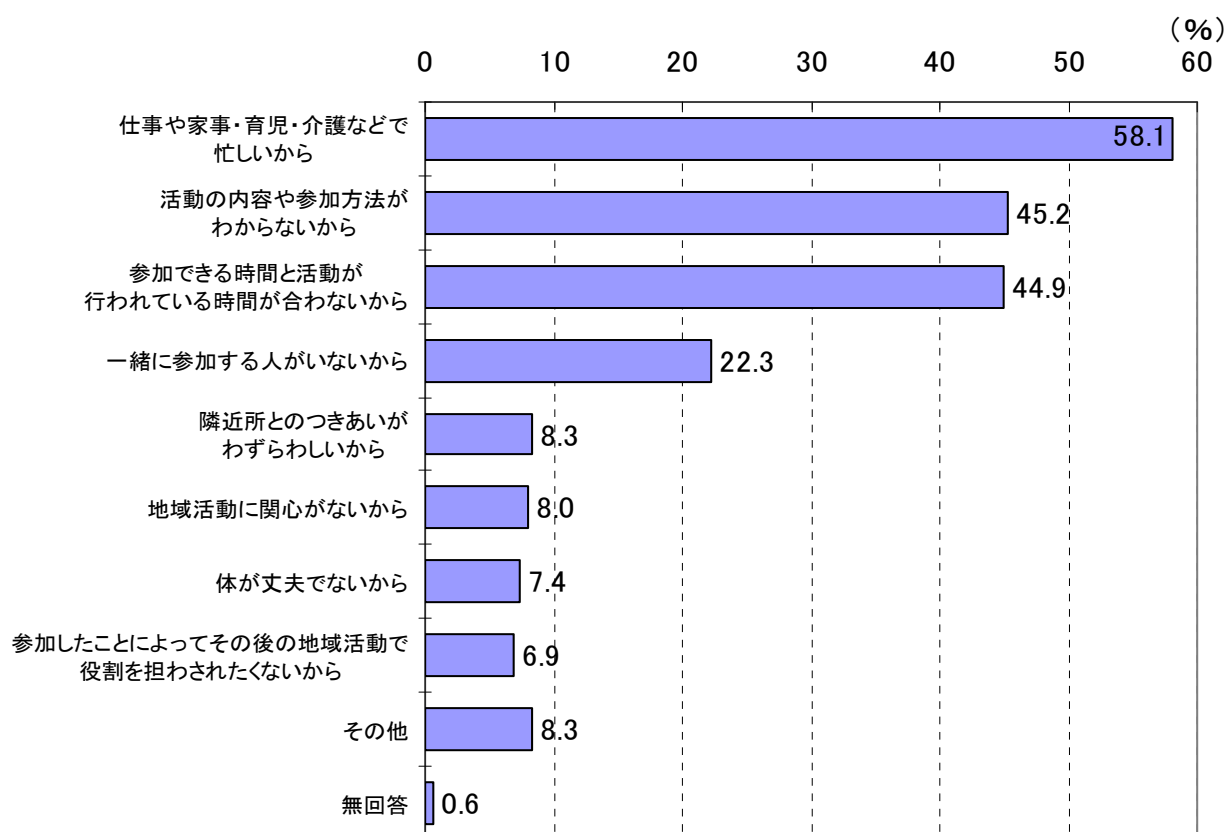
全体 (n=187)

(1)－3 参加しなかった（できなかった）理由

問1－3 【問1で「3 あまり参加したことがない」「4 参加したことがない」と回答した方におたずねします。】
地域活動に参加しなかった（または参加できなかった）理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

住民が主体となって行っている活動（地域活動）に『参加していない』人に、その理由についてきいたところ、「仕事や家事・育児・介護などで忙しいから」（58.1%）の割合が最も高く、次いで「活動の内容や参加方法がわからないから」（45.2%）、「参加できる時間と活動が行われている時間が合わないから」（44.9%）の順となっている。

参加しなかった（できなかった）理由



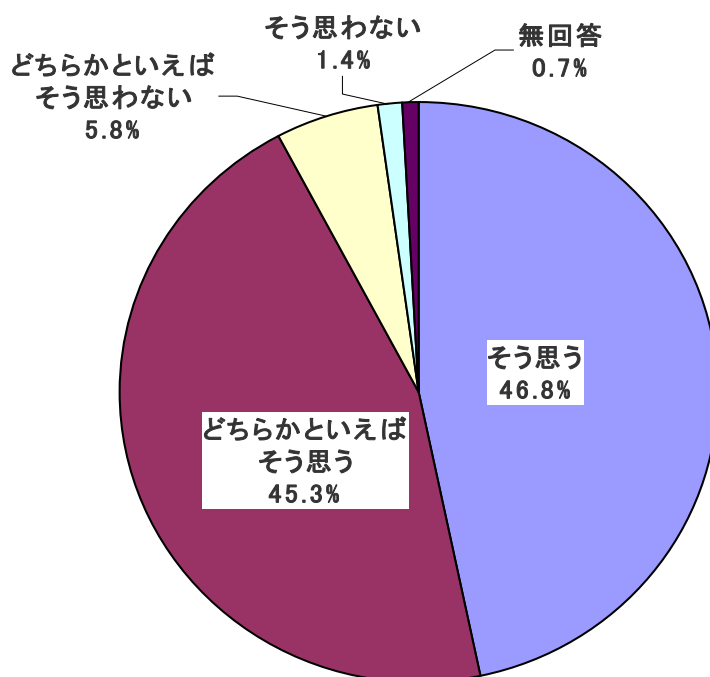
全体 (n=363)

(2) 地域を住みやすくするための地域活動の大切さ

問2 お住まいの地域をより住みよくするために、あなたは、地域活動を行うことは大切だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

住んでいる地域をより住みよくするために、地域活動を行うことが大切と思うかどうかをきいたところ、「そう思う」が46.8%、「どちらかといえばそう思う」が45.3%となっている。両者を合わせた割合は92.1%となっており、多くの人が地域活動を行うことは大切だと思っていることがわかる。

地域を住みやすくするための地域活動の大切さ

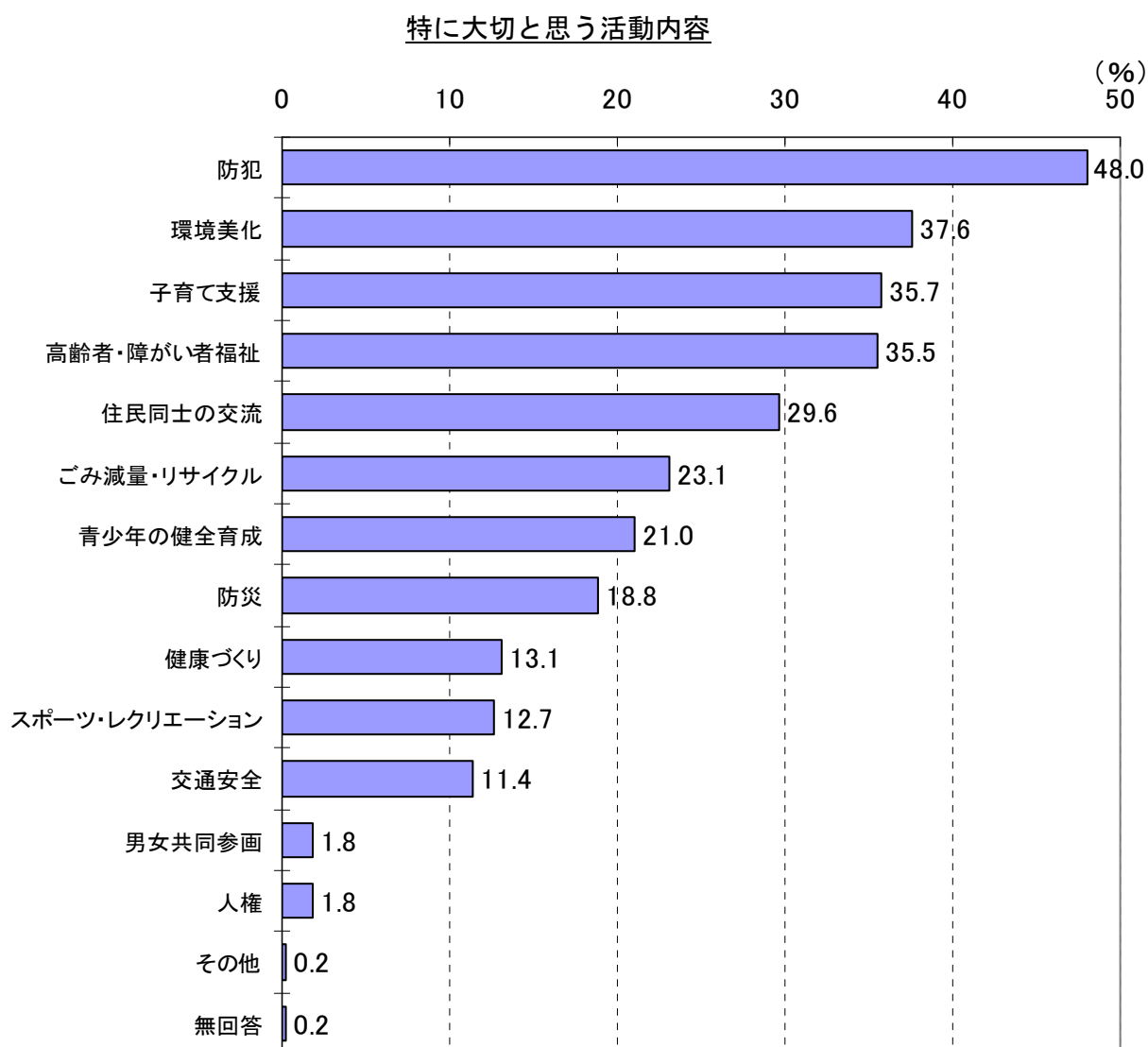


全体(N=554)

(2)－1 特に大切と思う活動内容

問2－1【問2で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答した方におたずねします。】
特にどのような分野の活動が大切だと思いますか。あてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

住んでいる地域をより住みよくするために、『地域活動を行うことが大切』と答えた人に、特に大切だと思う分野の活動内容についてきいたところ、「防犯」(48.0%)の割合が最も高く、次いで「環境美化」(37.6%)、「子育て支援」(35.7%)、「高齢者・障がい者福祉」(35.5%)、「住民同士の交流」(29.6%)の順となっている。



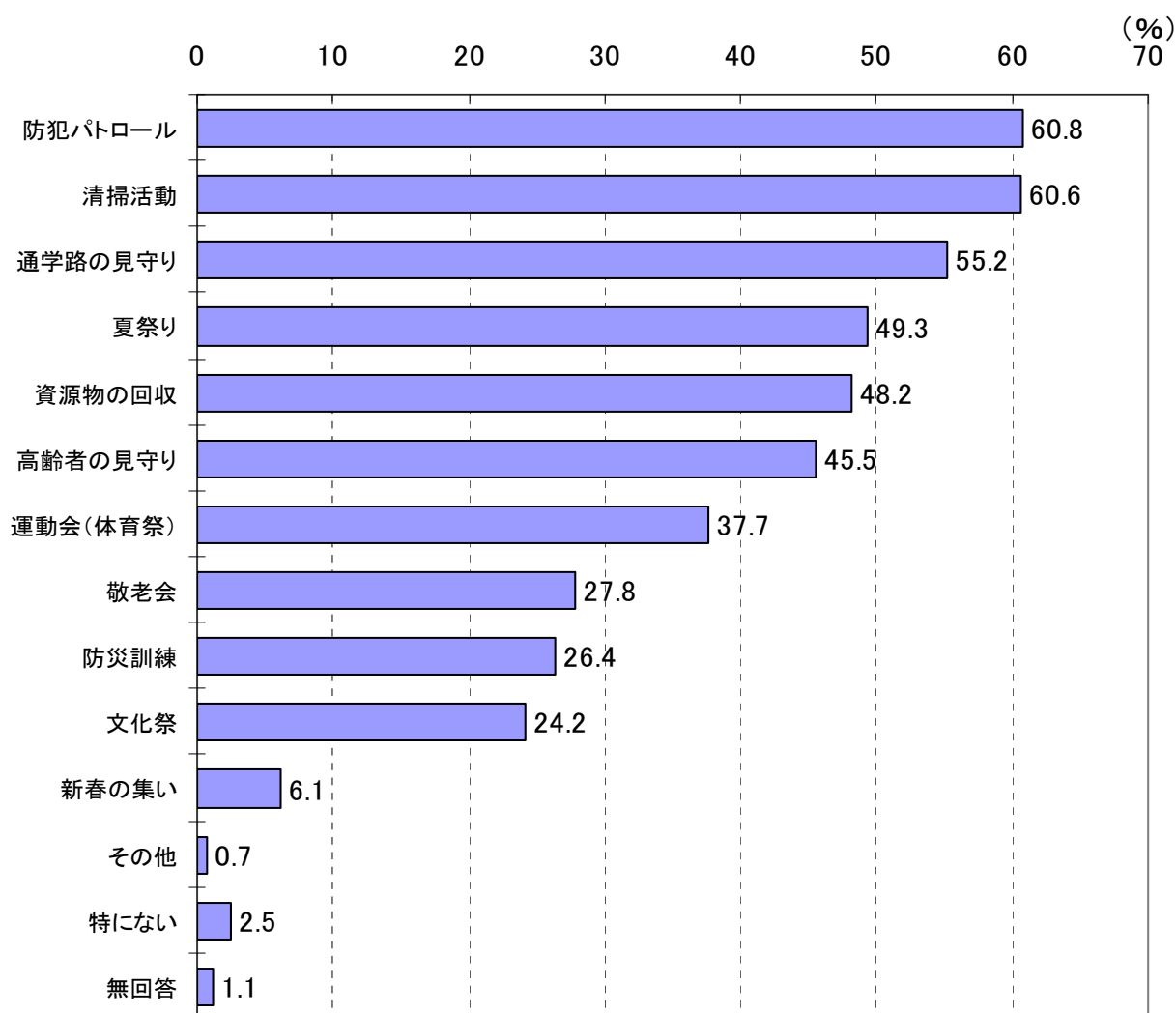
全体(n=510)

(3) 地域で行われてほしいと思う活動内容

問3 お住まいの地域で、どのような活動が行われるとよいと思いますか。あてはまるもの(すでに行われているものも含みます)をすべて選び、番号に○をつけてください。

住んでいる地域でどのような地域活動が行われるとよいかきいたところ、「防犯パトロール」(60.8%)、「清掃活動」(60.6%)の割合が高く、次いで「通学路の見守り」(55.2%)、「夏祭り」(49.3%)、「資源物の回収」(48.2%)、「高齢者の見守り」(45.5%)の順となっている。

地域で行われてほしいと思う活動内容



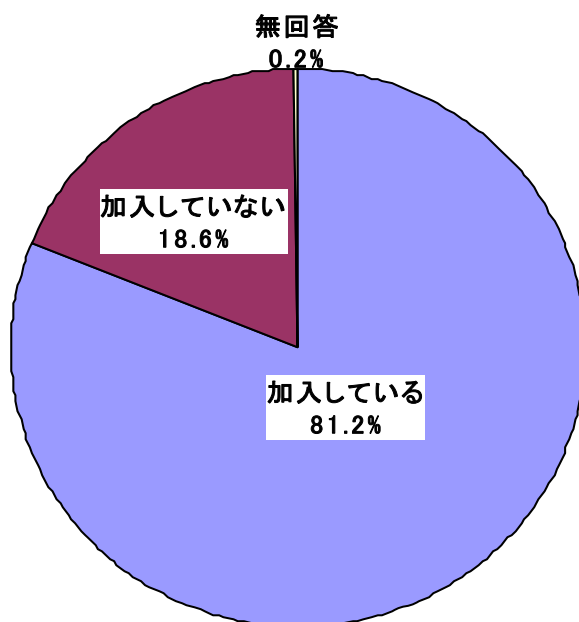
全体(N=554)

(4) 自治会・町内会の加入状況

問 4 あなた（またはあなたの世帯）は、お住まいの地域の自治会・町内会に加入していますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

自治会・町内会の加入状況についてきいたところ、「加入している」と答えた人は81.2%、「加入していない」は18.6%となっている。

自治会・町内会の加入状況



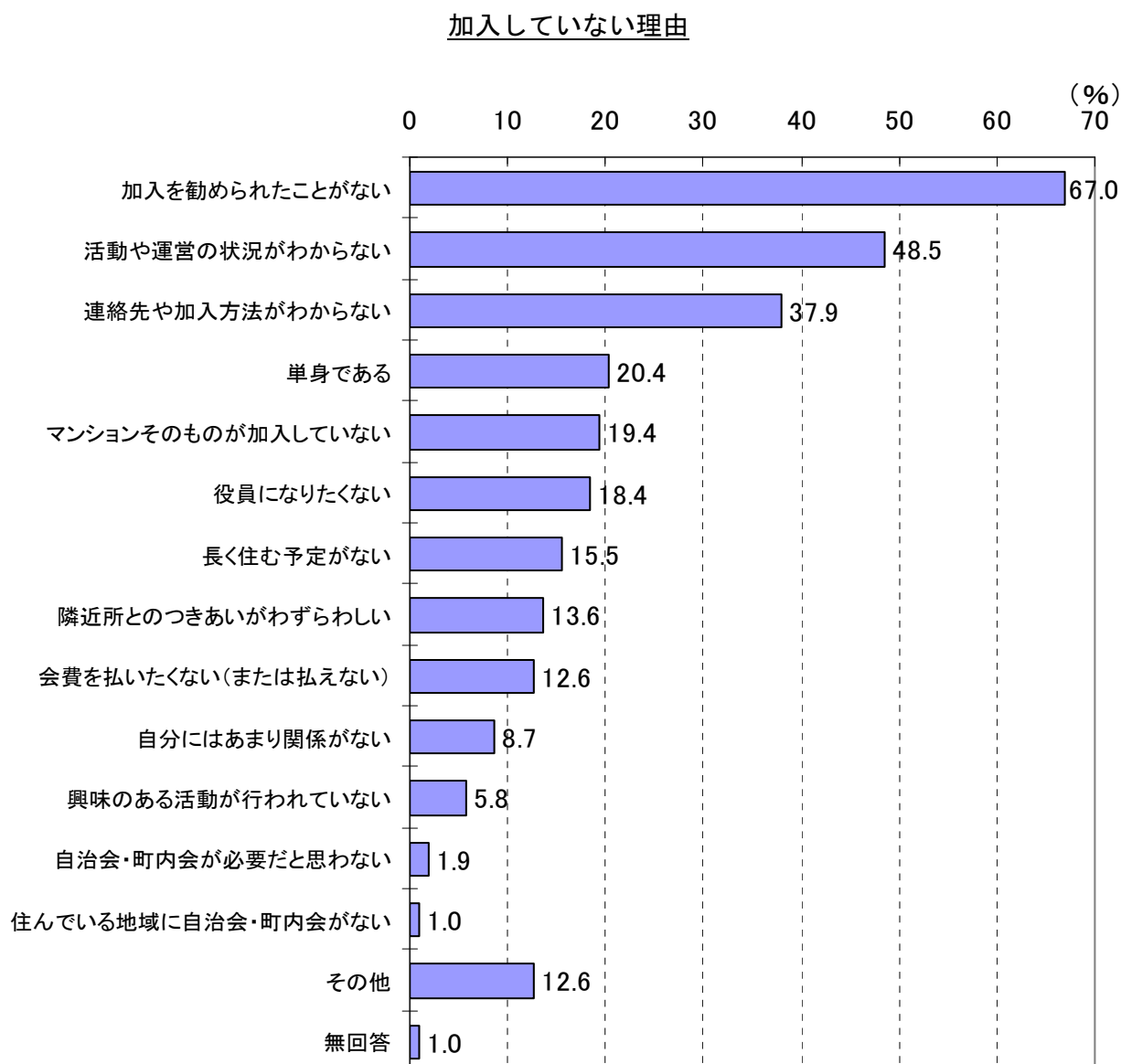
全体(N=554)

(4)－1 加入していない理由

問 4－1 【問 4 で「2 加入していない」と回答した方におたずねします。】

自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

自治会・町内会に加入していない人に、その理由をきいたところ、「加入を勧められたことがない」(67.0%)の割合が最も高く、次いで「活動や運営の状況がわからない」(48.5%)、「連絡先や加入方法がわからない」(37.9%)の順となっている。



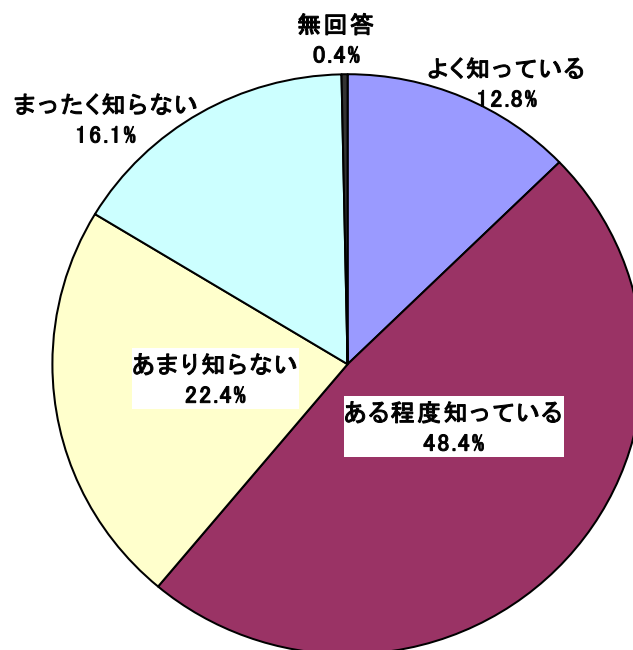
全体(n=103)

(5) 自治会・町内会の活動内容の認知状況

問5 あなたは、お住まいの地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているかご存じですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

住んでいる地域の自治会・町内会の活動内容についてきいたところ、「よく知っている」(12.8%)と「ある程度知っている」(48.4%)を合わせて、約7割の人が、『知っている』と答えている。

自治会・町内会の活動内容の認知状況

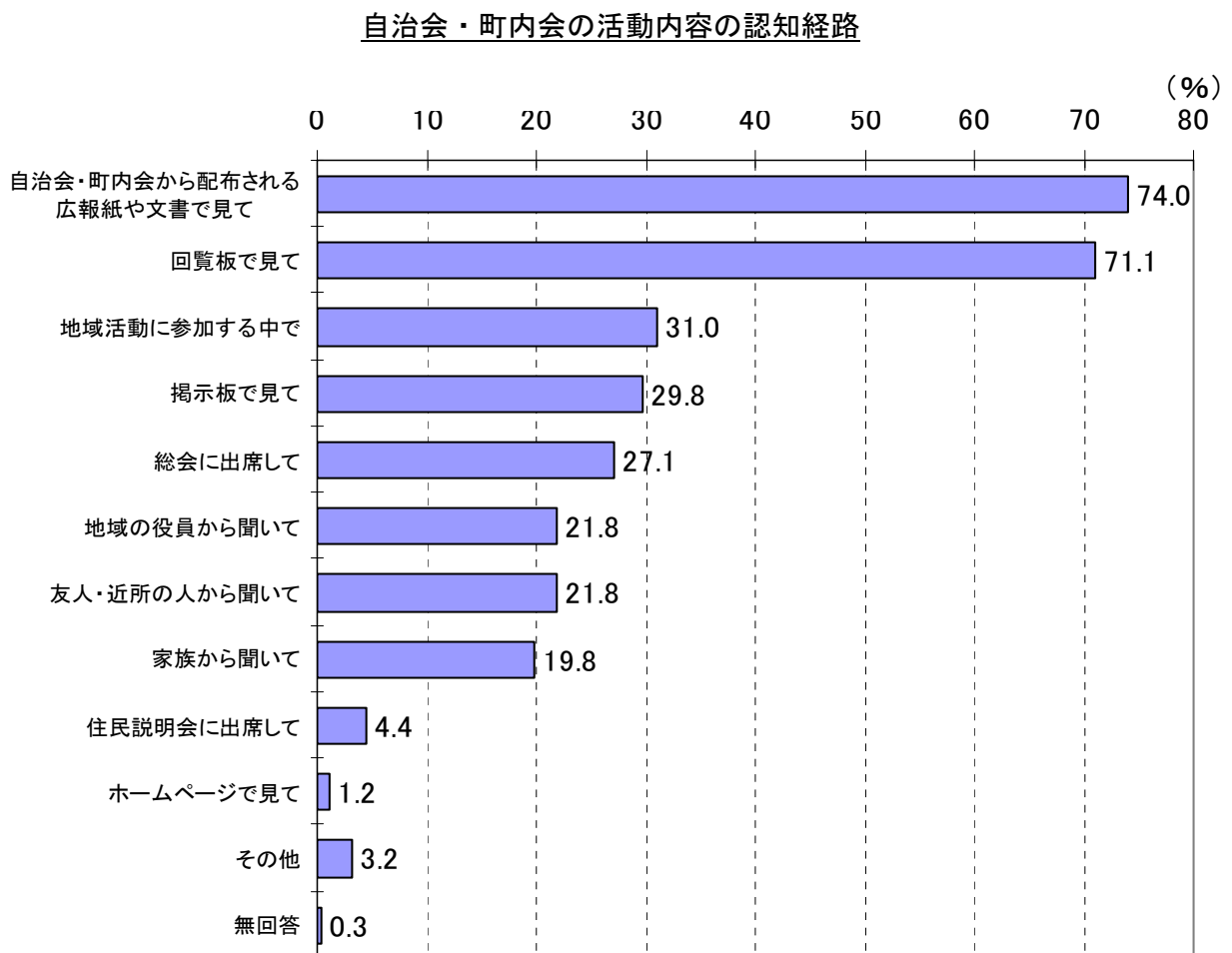


全体(N=554)

(5)－1 自治会・町内会の活動内容の認知経路

問5－1 【問5で「1 よく知っている」「2 ある程度知っている」と回答した方におたずねします。】
自治会・町内会の活動について、どのようにして知りましたか。あてはまるものを
すべて選び、番号に○をつけてください。

住んでいる地域の自治会・町内会の活動内容について、『知っている』と答えた人に、ど
のようにして知ったのかをきいたところ、「自治会・町内会から配布される広報紙や文書で
見て」(74.0%)と「回覧板で見て」(71.1%)の割合が高く、7割を超えている。



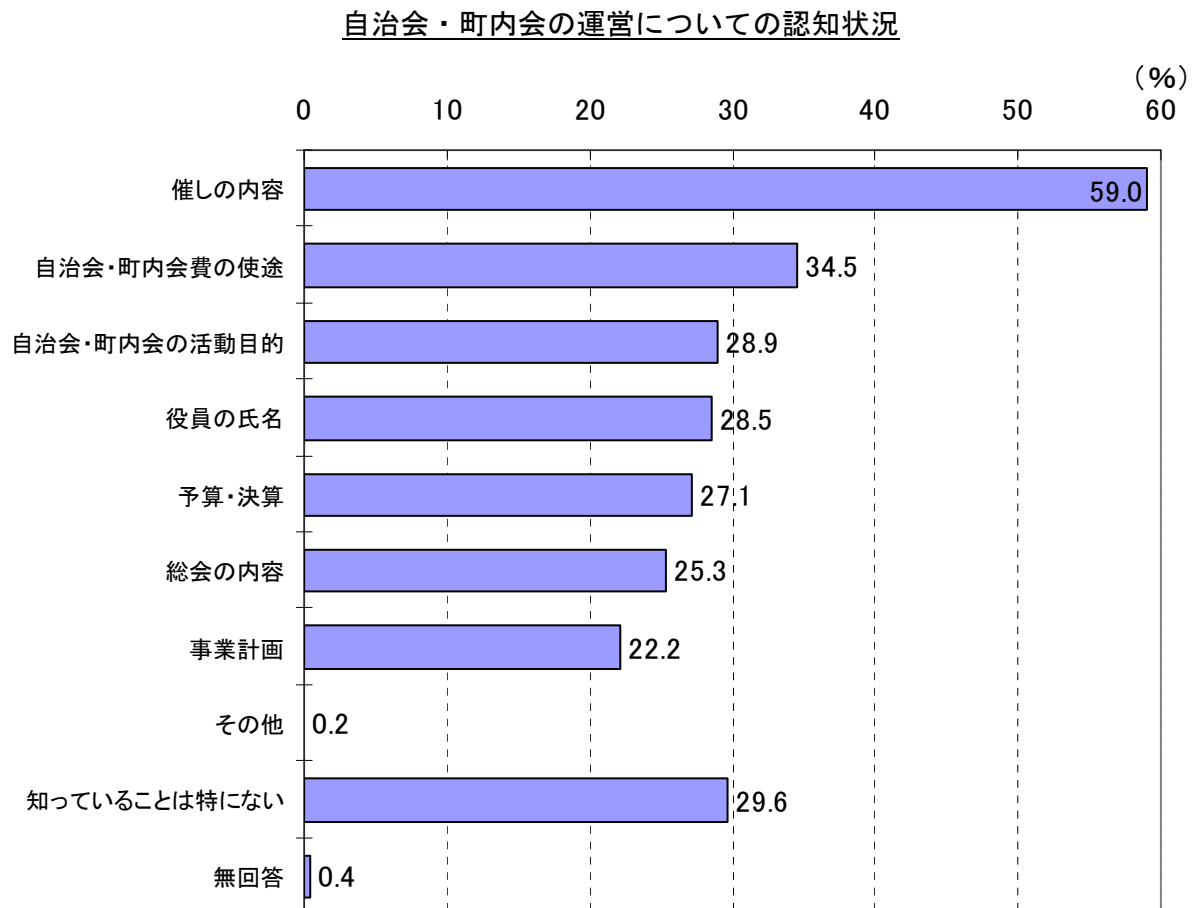
全体 (n=339)

(6) 自治会・町内会の運営についての認知状況

問 6 あなたは、お住まいの地域の自治会・町内会の運営について、どのようなことを知っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

住んでいる地域の自治会・町内会の運営について、どのようなことを知っているか聞いたところ、「催しの内容」(59.0%)の割合が最も高く、次いで「自治会・町内会費の使途」(34.5%)となっている。

一方で、約3割の人が、「知っていることは特にない」(29.6%)と答えている。

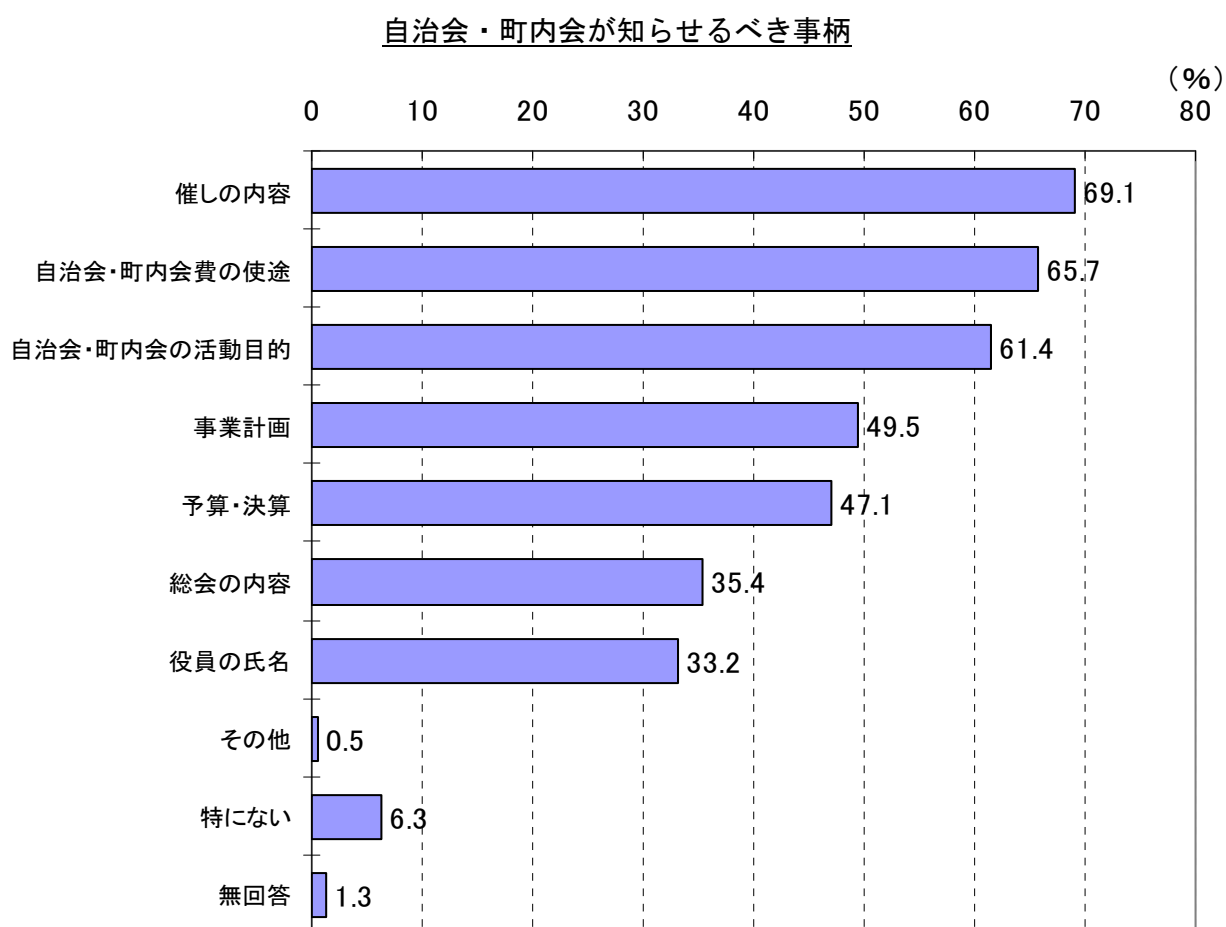


全体(N=554)

(7) 自治会・町内会が知らせるべき事柄

問7 自治会・町内会について、どのようなことを知らせるべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

自治会・町内会はどのようなことを知らせるべきだと思うかきいたところ、「催しの内容」(69.1%)の割合が最も高く、次いで「自治会・町内会費の使途」(65.7%)、「自治会・町内会の活動目的」(61.4%)の順となっている。



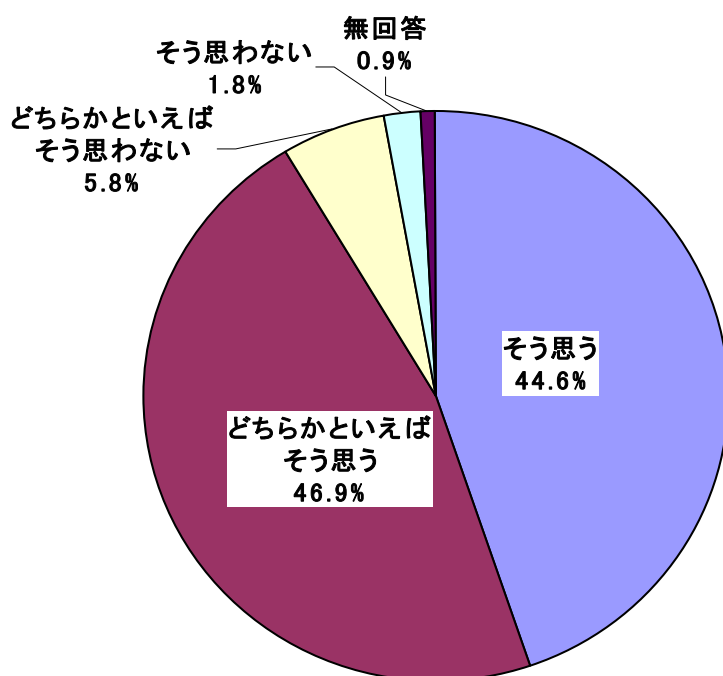
全体(N=554)

(8) 地域を住みやすくするための自治会・町内会の必要性

問 8 お住まいの地域をより住みやすくするために、あなたは、自治会・町内会は必要だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

住んでいる地域を住みやすくするために、自治会・町内会は必要だと思うかについて聞いたところ、「そう思う」(44.6%)と「どちらかといえばそう思う」(46.9%)を合わせた割合は91.5%となっている。

地域を住みやすくするための自治会・町内会の必要性

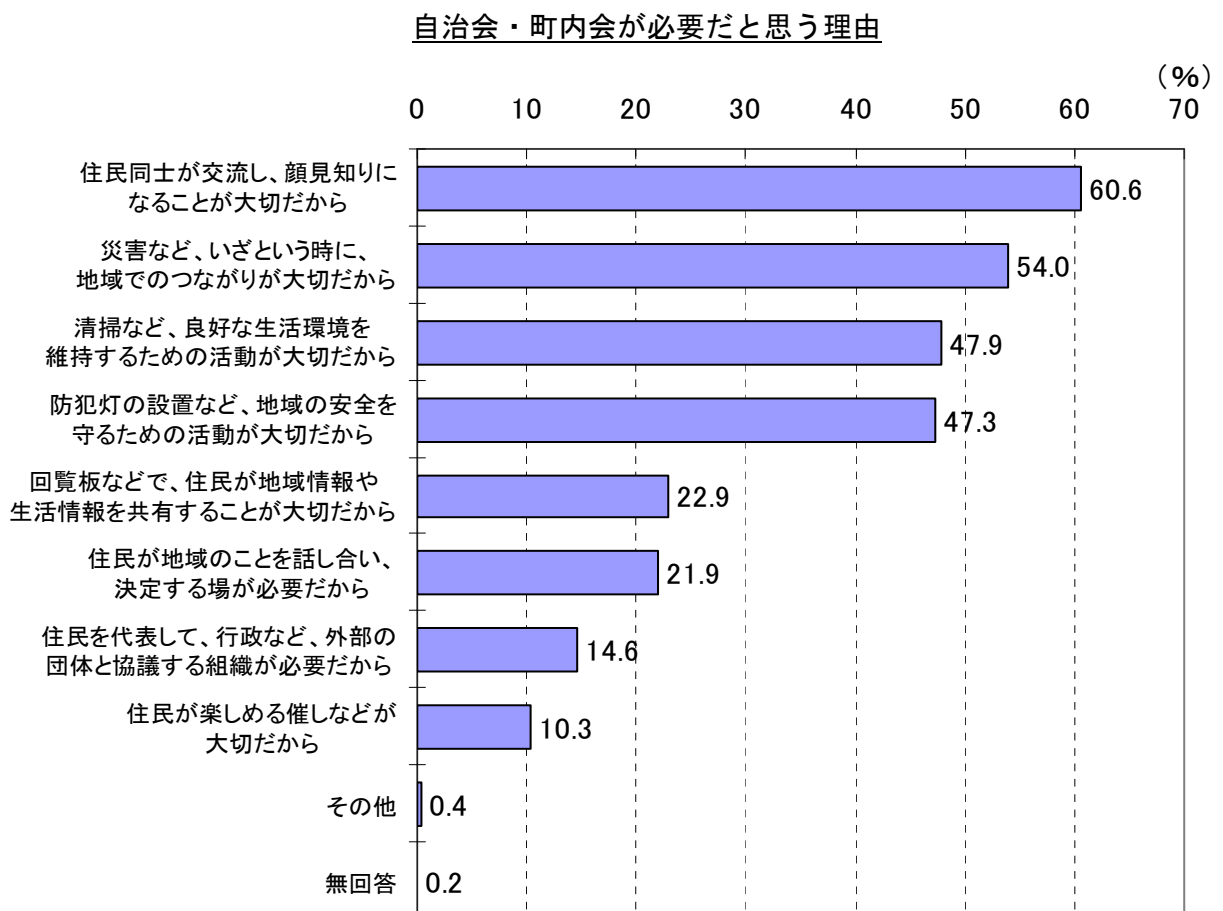


全体(N=554)

(8)－1 自治会・町内会が必要だと思う理由

問8－1 【問8で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答した方におたずねします。】
自治会・町内会が必要だと思う（またはどちらかといえば必要だと思う）理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

地域を住みやすくするために自治会・町内会が『必要』だと答えた人に、必要だと思う理由についてきいたところ、「住民同士が交流し、顔見知りになることが大切だから」（60.6%）の割合が最も高く、次いで「災害など、いざという時に、地域でのつながりが大切だから」（54.0%）、「清掃など、良好な生活環境を維持するための活動が大切だから」（47.9%）、「防犯灯の設置など、地域の安全を守るための活動が大切だから」（47.3%）の順となっている。安全に安心して暮らせる地域を作るため、また、いざという時のためにも、日頃から住民同士のつながりが大切だと考えている人が多いことがうかがえる。



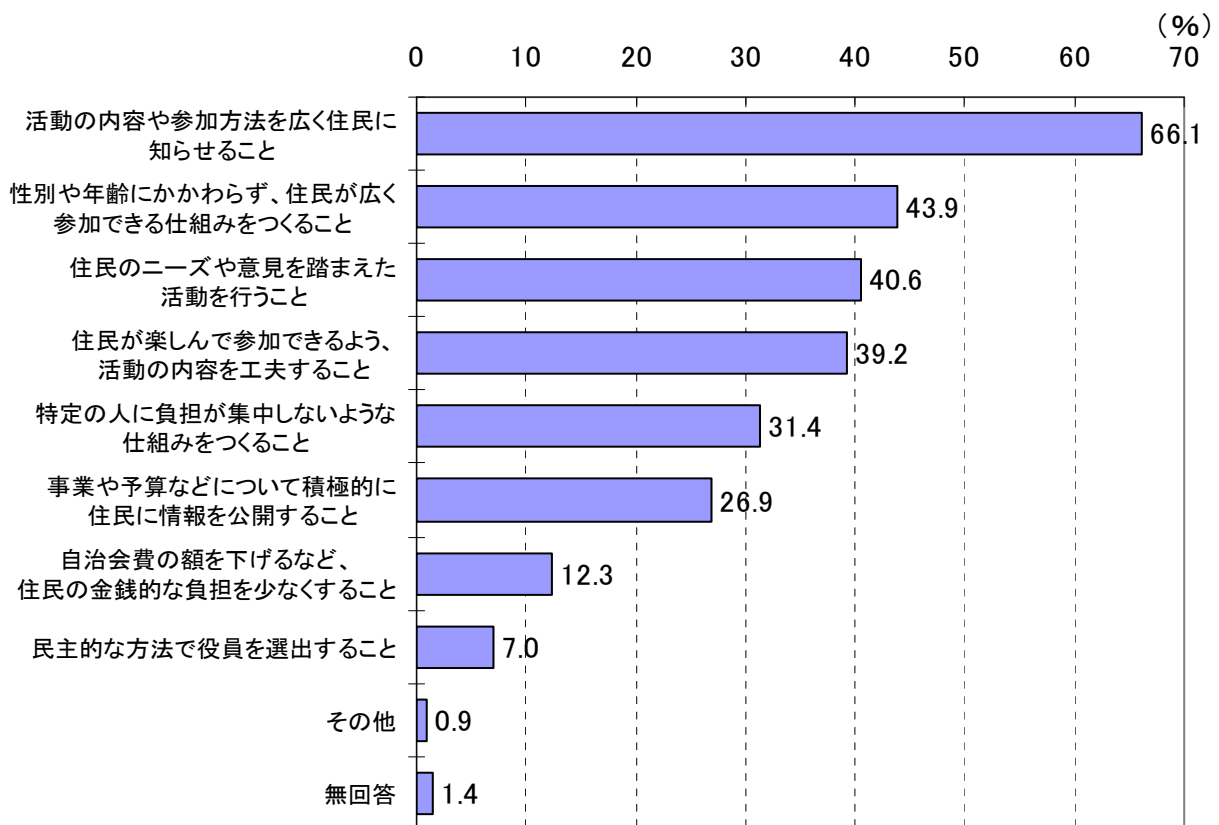
全体 (n=507)

(9) 自治会・町内会が活動していくために大切な取組み

問 9 自治会・町内会が、多くの住民の理解や参加を得ながら活動していくためには、どのようなことに取り組むことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

自治会・町内会が、多くの住民の理解や参加を得ながら活動していくために大切な取組みについて聞いたところ、「活動の内容や参加方法を広く住民に知らせること」(66.1%)の割合が最も高く、次いで「性別や年齢にかかわらず、住民が広く参加できる仕組みをつくること」(43.9%)、「住民のニーズや意見を踏まえた活動を行うこと」(40.6%)、「住民が楽しんで参加できるよう、活動の内容を工夫すること」(39.2%)の順となっている。

自治会・町内会が活動していくために大切な取組み



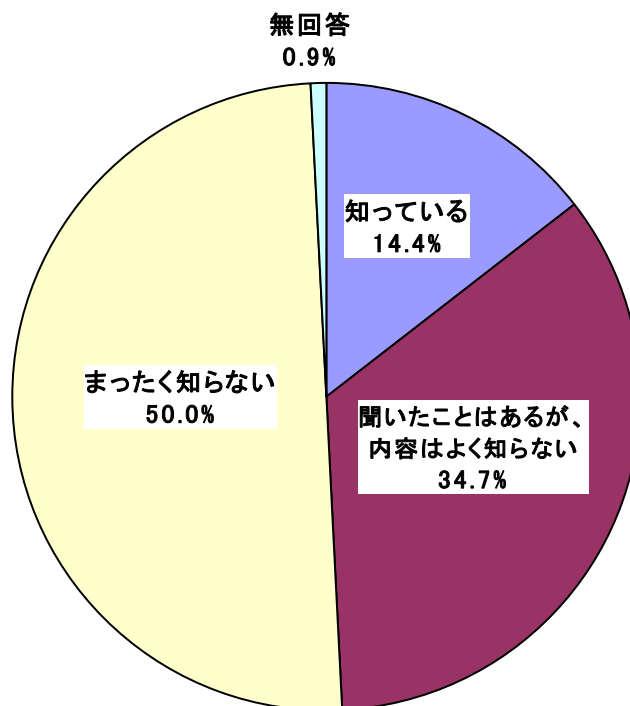
全体(N=554)

(10) 自治協議会の認知状況

問 10 福岡市は、各校区に対し、多くの住民や団体の参加のもとでさまざまな事柄を協議し、校区を運営していく組織として、平成 16 年度から、『自治協議会』の設立を提案しています(名称は、校区によって異なりますが、現在、市内の約 98%の校区で設立され、住民の皆さんの手で、さまざまな活動が行われています)。
あなたはこのような市の提案または地域の動きをご存知ですか。あてはまるものを 1 つだけ選び、番号に○をつけてください。

福岡市の『自治協議会』設立提案及び地域の動きについてきいたところ、「知っている」と答えた人は 14.4%となっている。なお、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は 34.7%、「まったく知らない」は 50.0%となっている。

自治協議会の認知状況

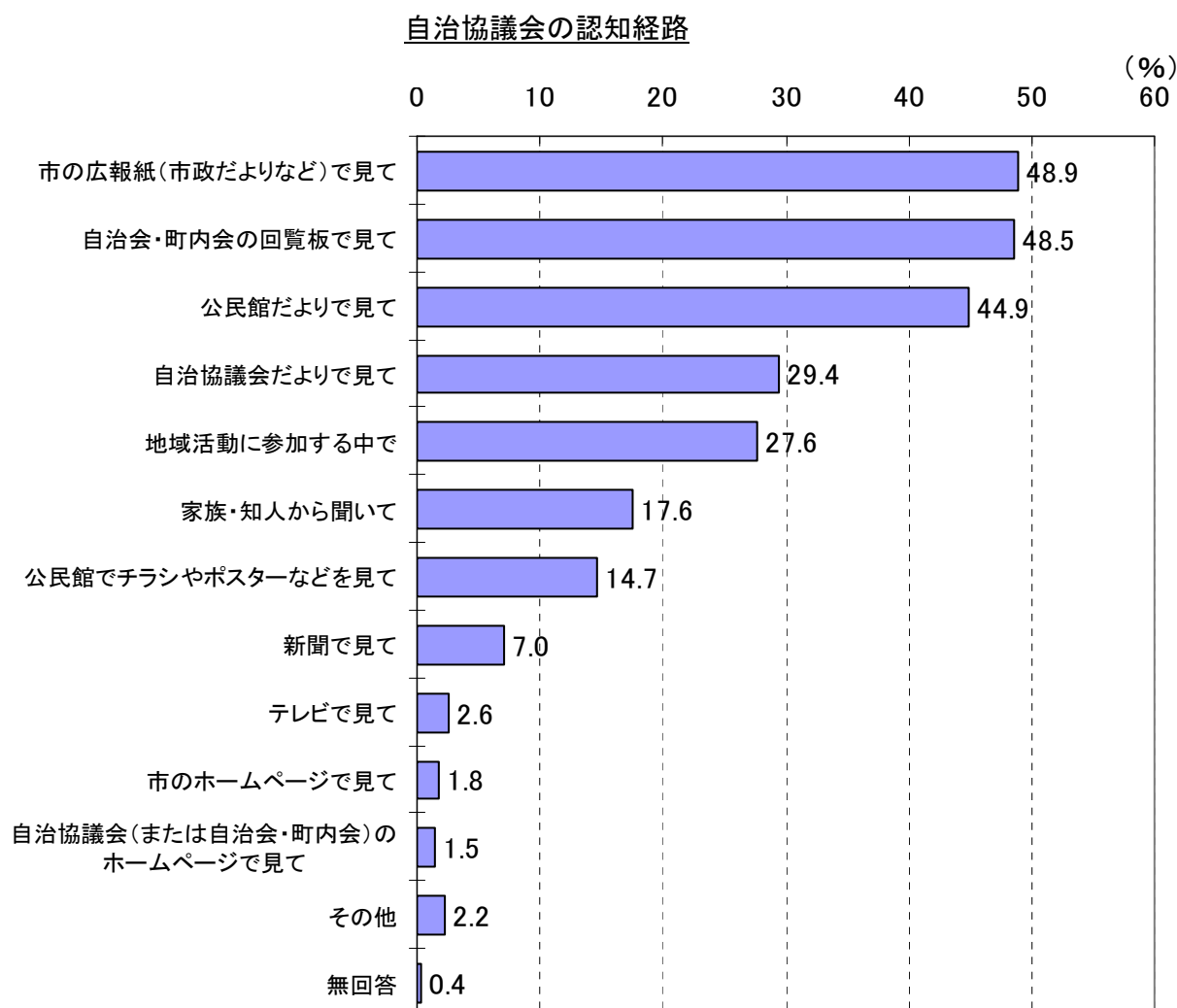


全体(N=554)

(10)－1 自治協議会の認知経路

問 10－1 【問 10 で「1 知っている」「2 聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と回答した方におたずねします。】
どのようにして自治協議会のことを知りましたか。あてはまるものをすべて選び、
番号に○をつけてください。

自治協議会について、「知っている」または「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と答えた人に、どのようにして知ったのかをきいたところ、「市の広報紙（市政だよりなど）で見て」（48.9％）と、自治会・町内会の回覧板で見て（48.5％）の割合が高く、次いで「公民館だよりで見て」（44.9％）、「自治協議会だよりで見て」（29.4％）の順となっている。



全体 (n=272)

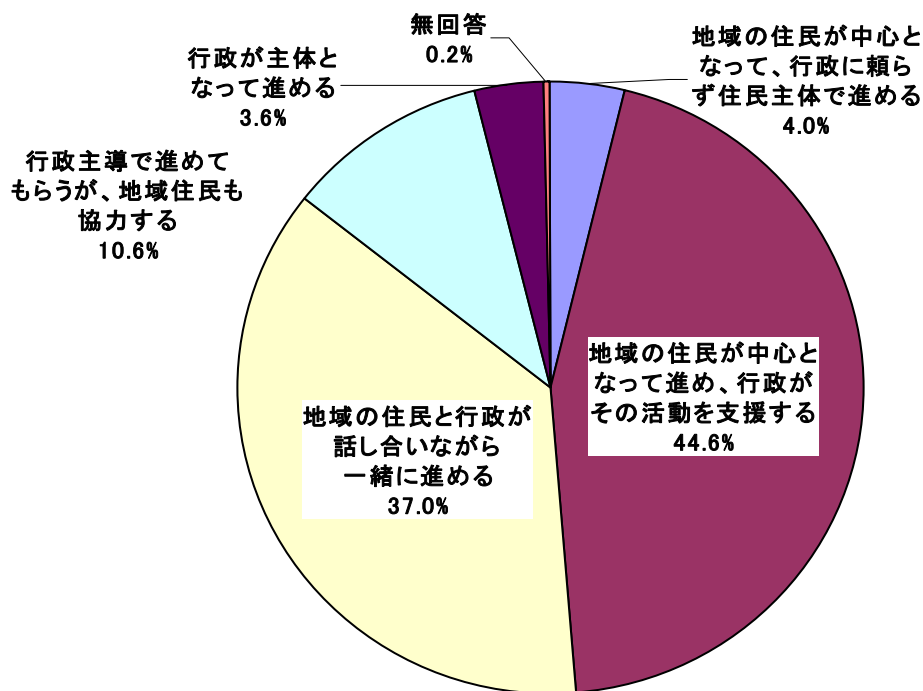
(11) 望ましい活動の進め方

問 11 お住まいの地域をよりよくするための活動は、どのように進めることが望ましいと思われますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

地域をよりよくするための活動の望ましい進め方について聞いたところ、「地域の住民が中心となって進め、行政がその活動を支援する」(44.6%)の割合が最も高く、次いで「地域の住民と行政が話し合いながら一緒に進める」(37.0%)の順となっている。

この結果から見ると、住民と行政が連携・協力しながら、地域をより良くしていくことが望まれているようである。

望ましい活動の進め方



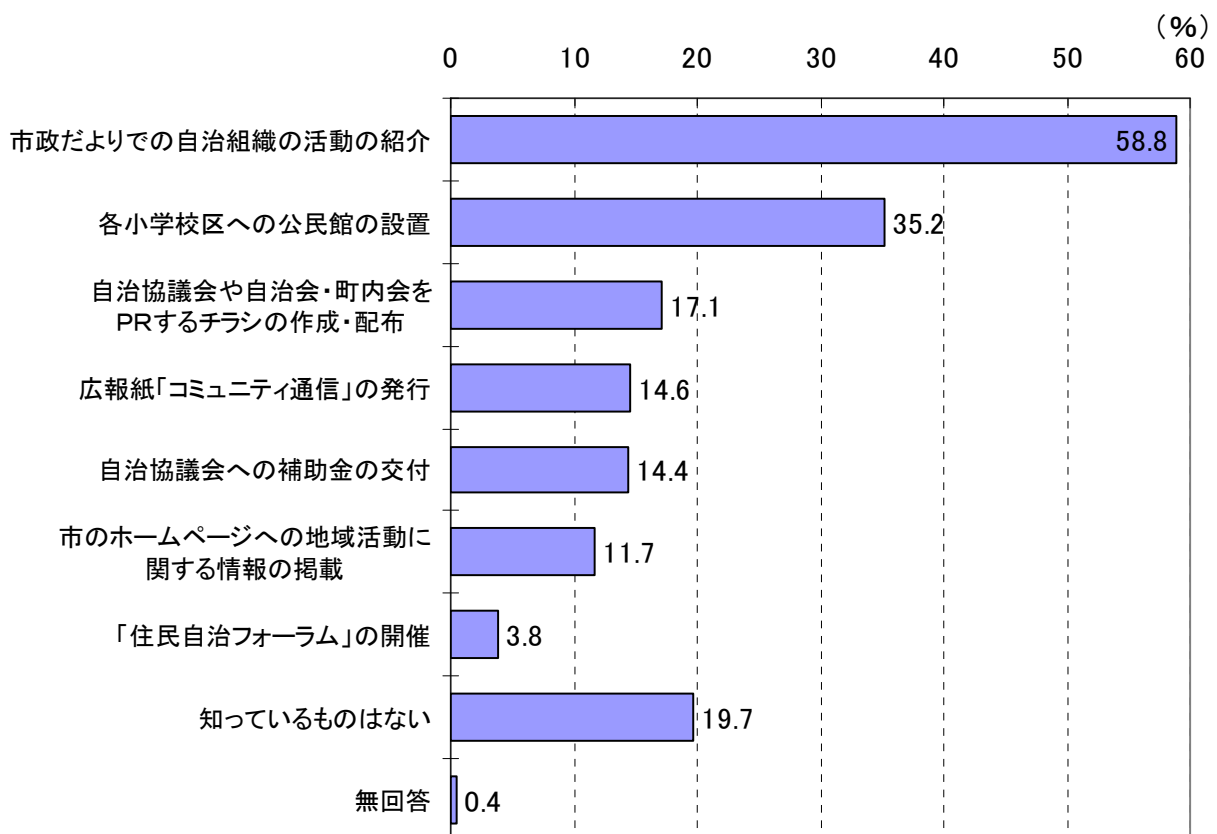
全体(N=554)

(12) 自治組織に対する市の支援施策の認知状況

問 12 市は、自治協議会などの自治組織の活動を支援するために、さまざまな取り組みを行っています。市が行なっている取り組みについて、あなたが知っている（聞いたことがあるも含みます）ものがありますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

自治協議会などの自治組織の活動を支援するために、市が行っているさまざまな取り組みについて知っている（聞いたことがある）ものをきいたところ、「市政だよりでの自治組織の活動の紹介」の割合が58.8%と最も高く、次いで「各小学校区への公民館の設置」(35.2%)となっている。

自治組織に対する市の支援施策の認知状況



全体(N=554)